

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

2013 April

04

Vol.561

Monthly Communication Magazine DOYU

03 [特集] 第43回 中小企業問題全国研究集会 ダイジェスト 中小企業が日本を変える! 1300名の決意!!



08 21世紀型 自立型企业づくり

お役立ちと安心をまじめに提供する

～もう一つ上に行きたくないか～

有田電器情報システム株式会社

11 ようこそ同友会へ

12 4月行事案内

14 第10回 理事会報告

15 第11回 理事会報告

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

はみだし Report

21世紀型 自立型企业づくり

(本誌p.08掲載)



有田電器情報システム株式会社

代表取締役社長

有田 栄公 氏

(嘉飯支部)

「よかよか」、「わがいいごとすればいい」とこれは有田さんから良く聞く言葉です。有田さんの紹介を今回頼まれ、正直にお答えしようと思います。有田さんは意外にまじめで、慎重、でも時々いいかげんな人です。そして何より仲間に対する意識の強い方だと思います。私が同友会に23歳で入りたての頃、会に馴染めない自分に高校の10期先輩だった有田さんはよく声をかけて頂き、引っぱりまわしてくれたのを覚えています。今も自分が同友会にいるのは有田さんのおかげかもしれません。そんな有田さんが来期、嘉飯支部の新支部長になります。有田さんの人柄(色々な意味ではおつておけない)だからこそ助け合い、全員一丸体制の同友会活動が今後も出来ると私は思っています。

記事：重松 和孝

今月の表紙



第43回 中小企業問題全国研究集会

今回、福岡同友会創立50周年にあたり全研の写真撮影は福岡市城南区にスタジオをかまえる(有)アカシの皆様にご協力いただきました。



有限会社 アカシ 取締役 明石 智津子 氏
【スタジオ】 Photo Studio Vitamin

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真を公募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成25年6月号は平成25年5月1日必着
投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
もしくは a_satou@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。
※表紙に目次が入るため、写真に文字が入ります。ご了承ください。

Information

東日本大震災記録集『逆境に立ち向かう企業家たち』発刊 (2013.02.13)



「写真で見る相双地区活動の記録」、座談会「東日本大震災から1年8カ月、相双地区復興への課題と展望を語る」、相双地区会員八十五社の「震災記録」、そして相双地区活動記録などが収録されています。

地震、津波、原発事故と歴史上類をみない三重苦を背負ってしまった相双地区。震災当時のそれぞれの状況、その後も続くさまざまな苦難に翻弄される中で会員一人ひとりの思い、そして復興に向けてくじけずに奮闘する会員の姿などがリアルに刻まれています。

高橋相双地区会長は、「発刊のごあいさつ」の中で、全国の同友会の物心両面にわたる多くの支援が相双地区会員の「明日に向かう気力を取り戻させてくれた」と感謝し、「同友会の絆の結晶がこの記録集」と記しています。一人でも多くの方に読んでいただきたい一冊です。お申込込みは、福岡同友会事務局まで!!

【事務局 TEL 092-686-1234】

中小企業が日本を変える！1300名の決意！！

2月14日～15日『全研』がヒルトン福岡シーホークで開催されました。全都道府県より1300名の会員が集まり熱い討議を重ねました。

記念講演

私の経営理念～人を活かす経営～

株式会社ふくや 代表取締役社長 川原 正孝氏



会社の存続のためには利益を出すことも必要です。そして中小企業は地域に寄り添うこと、地域貢献を考えていくことも大切です。私が会社を継承して、両親の精神を受け継ぎました。社員にやる気を出して

明太子は博多を代表する名産品の一つです。韓国・釜山で生まれ育った私の両親は、戦後博多へ引き揚げ、「ふくや」を創業しました。明太子は両親が韓国で食べていた辛子のついたタラコの味を思い出しながら、日本人に合うように味付けしたのが始まりです。発売後も味の改良を重ね、製造特許等は一切取らずノウハウを公開したため、のちに多くの明太子メーカーが誕生し、爆発的な成長を遂げました。



もらうためには自ら学ぶ環境をつくるのが大事だと考え、資格取得や地域活動参加を奨励しています。そして『強い会社、良い会社』を目指し日々努力しております。

2日間のまとめ

中同協幹事長 広浜 泰久氏

- 徹底して人を生かす経営をしよう
- 誇りを持って経営しよう
- お互いを助け合うための会員増強をしよう ～会員増強は人命救助である



来賓 福岡県知事 小川 洋氏



来賓 経済産業省九州経済産業局 局長 廣實 郁郎氏



主催者あいさつ 中小企業家同友会全国協議会 会長 鋤柄 修氏



現地歓迎あいさつ 福岡県中小企業家同友会 中山 英敬氏



オプションツアー『筑豊の炭鉱文化遺産「記憶めぐり」』 田川市石炭・歴史博物館および旧伊藤伝右衛門邸



2日間のまとめ 中同協幹事長 広浜 泰久氏



来賓 福岡市副市長 山崎 一樹氏

14の分科会

— 「学び」を深める —

「同友会が目指す地域づくりと経営環境」「復興『われら断じて滅びず』から一年」「同友会理念の実践と自社の変革」「業種別：打つ手は無限！なぜ既存業種で成長し続けるのか？」「見学：改革のヒントは現場にあり」の5つのテーマで取り組みました。

第4分科会

社員の人生の物語を大切にす社風で会社が育った



藤原 博美氏 (株式会社日本ベルト工業)

第1分科会

強まる「逆風」を打開し、
中小企業が発展できる環境をめざす



中村 高明氏 (株式会社紀之国屋) 大林 弘道氏 (神奈川大学)
沼田 道孝氏 (株式会社第一経営相談所)

第5分科会

家守りがつくる、地域循環型工務店



川原 徳昭氏 (株式会社ゆい工房)

第2分科会

地域とともに！中小企業家の思いが結実した
与謝野町中小企業振興基本条例



岸部 敬氏 (株式会社きしへ建設)
玉川 茂生氏 (有限会社玉川瓦店)

第6分科会

中小企業はモテない男!?
人を生かす経営の実践で選ばれる会社に



清家 政彦氏 (セイワシステム株式会社)

第3分科会

福島のその後、私たちは負けないⅡ



高橋 美加子氏 (株式会社北洋舎クリーニング) 安孫子 健一氏 (株式会社建設相互測地社)
渡部 明雄氏 (アース建設株式会社) 植田 浩史氏 (慶應義塾大学)

第11分科会

中小建設業界の動向と活路



山本 克己氏 (株式会社ストラクス)

第7分科会

「真連携」から生まれる新事業創造



崎田 正司氏 (有限会社野菜王国) 末石 藏八氏 (株式会社キシヤ)
 春田 統一氏 (株式会社春田建設) 松田 一也氏 (九州経済産業局)

第12分科会

地域一番店をつくる



岡崎 磊造氏 (有限会社おか半)

第8分科会

町工場の意識改革、「どう作るか」から「何を創るか」へ



島原 俊英氏 (株式会社日向中島鉄工所)

第13分科会

ビンテージビルがまちを変える！ 夢あるリノベーションによる企業成長



吉原 勝己氏 (吉原住宅有限公司)

第9分科会

中小企業のアジアへの展開は成功するか



小島 正憲氏 (株式会社小島衣料) 野田 勝広氏 (株式会社野田屋)
 木村 竹芳氏 (株式会社北陸サンライズ)

第14分科会

社員も社長も会社も成長していく IT見えるか？経営



鐘川 喜久治氏 (株式会社鐘川製作所)

第10分科会

北海道産食材をいかしたオンリーワン戦略



藤井 幸一氏 (サンマルコ食品株式会社)

実行委員長 樋口 康治氏



懇親会の席で、実行委員長としてのごあいさつで壇上上がった時、全都道府県から1300名の仲間が福岡の地に集結してくれたのを見て、感激してしまいしばし言葉が出ませんでした。
実行委員会は1年以上掛けて取り組みました。各委員さんが自主的に提案していただき、責任を持って取り組んでいただいた結果、成功裏に終えることができました。改めて感謝申し上げます。参加された会員さんはぜひ学んだことを自社に持ち帰り実践されることを祈願いたします。

分科会部会

部会長 向井 徹氏



ほっとしました。分科会が一番の大所帯で、委員の方が本当によく動いていただきました。事前のグループ研修にも多くの会員さんが集まっていたいただき感謝いたします。

全体会運営部会

部会長 淀川 洋子氏



全てが終了し実行委員のみなさまに、中同協の広浜幹事長より福岡のお迎えの心の素晴らしさにお

褒めの言葉をいただきました。

無事終了し学んだことは、ひとつになれる仲間がいるという素晴らしさ、そして人事をつくすということです。

前向きなエネルギーが集まるとその力は素晴らしいものです。いろいろな場面を想定し対処法を考えておく、そしてそれをチームで共有し、しかもタスキリレーのように次の役割の方につなげていく。それでも多少の事は起こるけれど後悔は少ない。

これからも役割をいただいたら自分自身を成長させる魔法の言葉「はいー喜んで」を続けて行こうと改めて感じた二日間でした。

参加促進・増強部会

部会長 笠置 重子氏



参加促進活動は、短期間にも拘わらず1月末には福岡400名、他県900名を超える登録があり、「全研」で学びたい、福岡に来たい

と熱い思いが伝わり、とても嬉しかったです。私は、何としても福岡での参加目標を達成したかったのですが、1月末で1300名を超える参加登録があった為、会場のスペースを考慮すると、更なる参加促進が出来なくなり会員の方には「全研」の浸透がいき届かなかつた責任を感じています。今回、私が学んだ事はみんなの「心」「知恵」「力」を結集すれば、叶わぬ事はない絆の深さでした。無事に終わり、私を爽やかな心地良い疲労感が包んでくれました。

参加者の感想

明石 勝善氏 (東支部)



第10分科会「北海道産食材をいかしたオンリーワン戦略」二代目

経営者の決断」に参加しグループ長を担当しました。事前のグループ長研究会にも参加し「テーブル発表をいかに良いものにするか」ということを中心に段取りしました。討議の中で出てくるであろう意見を想定してみ、私の考えをまとめて分科会に臨みました。そうすると報告の内容がスーッと自分自身に落ちてくるのを感じました。さらにスムーズなグループ討議もでき本当にいい勉強になりました。

茅嶋 孝一郎氏 (博多支部)



私が参加した第2分科会では、高齢化と人口減少に悩む与謝野町で、粘り強い活動により、中小企業振興基本条例制定に至るまでの、京都丹後支部の7年間の取り組みの報告がありました。この条例制定には、同友会だけでなく、商工会、自治体、農業者、金融機関も参

加、地域振興策として、今後多くの施策を行うこととなります。私も地域への貢献ということを意識し、継続してできることに取り組んでいこうと思いました。

北村 陽一郎氏 (東支部)



分科会では岩手同友会の(株)ゆい工房の川原社長の報告を聞きました。弊社は少人数の会社ではありませんが、やはり身の丈に合った経営理念の構築、そして社員一人ひとりが経営指針書を理解し実践していく事の重要性を感じました。

また、エンドユーザーへのエネルギー供給会社として、記念講演で(株)ふくや川原社長が実践されている地域貢献にも積極的に取り組みたいです。肩書きが通用しない地域活動の中で人間性を磨く、感性を磨く。自らが学ぶという人材育成の環境作りもトップとしての使命だと痛感しました。



● 懇親会 お祝にご来場いただいた来賓の皆様



● 物産展 福岡の名産をおみやげに



● 懇親会 懇親を深める全国からの会員さんたち



● 懇親会 東日本大震災復興支援ソング「スマイルアゲイン」を歌う雙葉学園合唱部

お役立ちと安心をまじめに提供する

もう一つ上に行きたくないか

ユビキタス(いつでもどこでも繋がる時代に入った)IT業界で、目先の利益にとらわれることなく『利他の精神』で実績を伸ばす有田電器情報システム(株)の神髄をお聞きました。



有田電器情報システム株式会社

代表取締役社長

ありた ひでとも
有田 栄公 氏

嘉飯支部

創業 1980年9月
住所 嘉麻市山野875-2
電話 0948-42-1570
社員 13名 パート 1名
<http://aritadenki.com>

筑豊の地で

今回の取材は緑豊かな筑豊・嘉麻市の有田電器情報システム(株)にお伺いしました。冒頭、有田栄公社長から業務内容についてご説明をいただきました。「当社には大きく分けて、WEBコンテンツ事業部とSI(システムインテグレーター)事業部があります。この2事業部とも、需要は日本中にあります」。結果の出るホームページ(以下HP)・使い勝手のよいシステム、これがお客様の転勤や引き継ぎなどにより口コミとなって広がって行きました。社員は北海道から鹿児島まで全国を飛び回っています。さらに韓国・中国にも出先機関を置いています。「よく東京を本拠地にしないかと聞かれますが、そのメリットもダメ

取材 月刊同友編集部
文章 菅原 弘
写真 佐藤 愛



リットも考えたことすらありません。私はこの地で生まれ面倒を見ていただきました。ここで会社を営むことは、恩返しというより『当たり前前』のことだと思っています」。

WEBコンテンツ事業部

「私たちはHPをつくることが

目的ではなく、WEB戦略をお客様に落とし込むことが目的です」。本来ホームページは、集客・告知・ブランディングなどが目的であるはずが、お客様・業者ともに見た目によりHPをつくること、デザイン性にばかりこだわっていると指摘します。「それでは集客(アクセス)が増えるわけがありません」。どのようなキーワードでお客様が来てくださるのか(SEO:検索エンジン最適化)や市場分析・ページの遷移改修など事細かに分析してP(計画)↓D(行動)↓C(確認)↓A(改善)を繰り返して改善を続けなければ成果は出ないと断言しています。「ウチのお客様のHPは結果が出ます。だからお客様にはHP作成を費用ではなく、投資と考えていただいています」。業種ごとに取引するお客様の件数に制限を設けています。また取引先には国立大学や金融機関があり、信頼の高さが窺えます。

SI事業部

「SIとは、いわばコンピューター的设计会社です」。建築業界とコンピューターの世界はよく似通っていると言います。「私たちが会社のインフラ・セキュリティ・プログラムなどを設計し、お客様の業務

スタイルに合ったルールを設定しているのです」。

その設計に基づいて構築しているのがSE(システムエンジニア)です。建築業界でいうゼネコンにあたります。「例えばお客様が持っている既存のソフトを、ハードと連動させることによって、ミスがなく便利で安く使えやすくなります」。

創立に至るまで

母体となる有田電器は父親の公明さんが1980年に創業しています。90年に地元の高校を卒業した有田さんは「何かをやりたいんですが、何をやっていいのかわからない」と、とりあえず専門学校に進みます。その後電器店の後継者が行くという『松下電器商学院(現・松下幸之助商学院)』に入学します。ここで人間力・経営力・営業力・技術力を一流の講師陣に徹底的に叩き込まれたと言います。「一つ例をあげれば『利他の精神』です。お客様の利益になることを第一に考えよ」ということですね」。

93年に21歳で後継者として入社します。家電と並行してIT部門にも取り組みました。「Windows 95が出たころですよね。ITはものすごいスピード

で発展するとともに当社も急成長しました」。家電とITでは基本となる方針が違うので、2000年にITをメインとした有田電器(株)を創立させ、06年に有田電器情報システム(株)へ組織変更し同時に家電部門を吸収しました。

ちなみに、06年のフォーラムでは「創業者と二代目・二つとも勝て取れないか」というテーマで報告しています。社名を残したのは父親への敬意を感じます。「ITについては悪いことも含めて、目先の利益を求めようとすればもっと儲けることができたかも知れません。しかし10年くらいの長いスパンで物事をとらえ、お客様の利益になることが判断基準です」。これはまさに『利他の精神』と言えます。同社の経営理念は「お役立ちと安心をまじめに提供する」と謳っています。

同友会での気づき

この仕事が面白くてたまらなく、かつ実績も急成長しています。やるべきことが急増しました。そこで有田さんは壁にぶつかります。「社員を使うことの難しさです」。急成長している会社で即戦力が急務なため中途採用をしていました。「事細かく指示するのですが、私と



来訪予定のお客様は特製のウェルカムボードで迎えています。



2006年に社屋を新築。社内は広々とした空間です。

同じようにやれない。それを伝えきれない。チェックできる人間が育たない」。さらに社員の定着が悪い状態でした。何が原因なのかわからない、解決の手がかりがきつとあるはずだと模索する有田さんは、知人の勧めで同友会を知り入会します。会員さんに会っては質問攻めにしていました。ある例会のグループ討議のことでした。有田さんは「このまま技術者でいるべきか、経営者になるべきか」と質問してみました。その席で「お前はバカか！好きなことしたいだけなら一人親方でいろ！何のために会社を作ったのか。もう一つ上に行きたいと思わないのか！」と会員さんの前で叱咤されたのでした。

その瞬間は頭に血が上ったと言います。しかし後日冷静に考えました。自分の勝手な欲であれもこれもやりたいと考えていました。もう一つ上に行くということは、経営者は社員に任せるといったのです。「解決の答えは自分になりました。社員を信頼していなかったんですね。同友会で気づかされました」。

三位一体の活動

それから徹底して有効な社員共育について研究しました。「つい口を出したくなっても我慢する。社員を信頼して答えを出すまで辛抱する。これが苦しかったですね」有田さんは苦笑いします。「現在進行形ですが、ある程度社員に権限と責任を与えて任せるようになりました」。

一人親方からの脱出により、10年前から取り組んでもできなかった経営指針書作成がここ5年ほど前から明確になってきました。近年は有田さんが全体の方針を示し、事業部ごと・社員ごとに具体的な方針作成を任せています。「数値計画はありませんが、私が重要視しているのは戦略の徹底です。お客様づくりをどうするかということですね。数字は後から付いてきます。そ

のために必要な経費が掛かるなら上げて来い」と言っておりあります」。

会社の方針を実現するのに長いスパンで物事をとらえ、新卒の定期採用が必要だと考えるようになってきました。同友会の合同入社式・合同社員共育にも参加しています。「新卒を定期採用するようになってから社員の定着率がグンとよくなりました」。外部講師を招いての一般常識の教育はしていますが、有田さんが力を入れているのは「利他の精神」に基づく『本気の仲間づくり』です。「社員同士、ケンカをしてでも注意・アドバイスしろ。これが仲間だ」と熱く語ります。こうして経営指針書作成・新卒定期採用・社員共育の同友会が提唱する三位一体の活動を展開しています。

会社は自分の居場所

取材の最後に有田さんが考える『自立型企業』についてお聞きしました。「目指していることは…社員たちが自分の会社を自分の居場所と思って、自分の責任と権限を持って仕事ができる。当てにし、当てにされる関係にある。そんな会社だと思えます。経営者ともコミュニケーションをよくとって理解しあえる関係にある会社ですね」。

取材協力ありがとうございます。

WELCOME Fresh our partners

新入会員ご紹介

同友会へ
ようこそ



有限会社 スプラウト

医院、美容室などの
ホームページ作成・管理、
WEBプロモーション
(販促・集客、スタッフ採用、他)
など。

福岡市中央区天神3-7-9-1113
TEL 092-738-2319

代表取締役 おだ かずのり
小田 和則 (福友支部)

前職の元上司のご紹介で、知る会へ伺い、昨年の秋に同友会へ入会致しました。様々な業種の経営者の皆様との交流は多くの学びをいただき、大変刺激にもなりました。同友会で多くを学び、より魅力のある企業作りに活かしていきたいと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。(http://www.sprout-jp.com)



美工房 メロウ

女性専用の
トータルエステティックサロン。
(美顔・ボディー・ネイル・
オリジナル化粧品)

春日市昇町1-67
TEL 092-581-2354

代表者 きはら
木原 さおり (中央支部)

春日市で女性専用トータルエステサロンを営んでおります。フェイシャル、痩身、ボディー、ネイル、まつげ、脱毛等と、幅広いメニューを展開しております。それと共に20数年の経験から「美肌成分にこだわった無添加化粧品」を開発、販売しています。

同友会では、経営指針の作成や、経営者としての責任、社会貢献など多くのことを学ばせていただきたいと思っております。これからも皆様のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。(http://www.b-merrows.com/)



田村行政書士事務所

許認可取得、法人設立、
外国人の在留資格取得を
中心に多岐に渡る業務を
取扱っています

福岡市南区清水2-1-49
TEL 092-512-1410

所長 たむら きみたか
田村 公隆 (南支部)

社会保険労務士法人COMMITMENTの北原正さんにご紹介いただき入会いたしました。当事務所は、事業を開始する際の各種法人の設立、建設業許可の取得や介護保険事業所の開設を中心とした各種許認可の取得、外国人の在留資格の取得などの支援を行っております。

同友会では、いろいろなことを学びながら、多くの方と出会い、たくさんの刺激を受けたいと思っております。



株式会社 カラーリングファーム

ラディッシュ、水菜、ホウレンソウ
などの野菜生産。

久留米市北野町鳥巢1280-1
TEL 0942-78-4040

代表取締役 ならはら けんいち
榎原 憲一 (りょうちく支部)

久留米市でビニールハウスを利用してラディッシュ、水菜、などの野菜の生産、販売をしています。ラディッシュを使った漬物の製造、販売にも取り組んでいます。入会のきっかけは、あすなろ塾に参加し、経営者としての能力を身につけたい、経営指針書を作りたいと思ったことです。参加した会ごとに学びが多く入会してよかったと思っています。よろしく申し上げます。

18 木 18:30~21:00

筑豊支部
4月例会

24年同友会と共に歩んで来て、、、徒然なるままに想うこと

■ ユメニティのおがた 直方市山部364-4 ☎0949-25-1007
 ■ 上本 昭南氏 株式会社上本アルミ建材 代表取締役社長 (筑豊支部)

「職人が経営者に」…そしてご縁を頂き、同友会へと入会。今では同友会に感謝し、また愛してやまず、さらにはこの同友会メンバーとしての自身を誇りにも感じていらっしゃる。経営者、同友会メンバーとして、様々な戸惑い、反骨、想うところもあつての歳月を過ごされたそうです。そんな上本氏の生き様、また、同友会と共に歩んだ24年を、50周年記念という節目の今年に語って頂きます。

18 木 18:00~21:00

りょうちく支部
設立2周年記念例会

課題の向うに未来を望む

■ 原鶴温泉 泰泉閣 福岡県朝倉市杷木志波20
 ■ 杉本 利雄氏 有限会社ラピュータファーム 代表取締役 (嘉飯支部)

地域と共に歩み、りょうちく支部はおかげさまで設立2周年を迎えます。記念例会として筑豊の川崎町で御活躍の杉本利雄さんに、この地域とも共通する地産地消でのファーム経営について語っていただきます。

19 金 18:00~21:00

福友支部
4月例会

経営指針書の発表会

■ ホテルコムズ福岡 福岡市博多区博多駅前2-8-15 ☎092-451-5111
 ■ 上野ますみ氏 株式会社西日本キャロット 専務取締役 (福友支部)
 ■ 山崎 龍也氏 有限会社ワールド・テン 代表取締役 (福友支部)

4月例会は福友支部毎年恒例となりました経営指針書の発表会です。数ヶ月の間、練りに練った経営指針書を発表いたします。経営者の頭にあるイメージをいかに数値や言葉として紙に落とすか、又、経営指針の中で数字の流れの作成、経営者の思いの落とし込みを学んでください。

19 金 18:30~21:00

嘉飯支部
4月例会

やるべきことやりたいことに押しつぶされていませんか？ 経営者にとって一番大切な資源『時間』 時間管理タスク管理によってストレスフリーの人生を手に入れよう!!

■ バドゥール・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
 ■ 佐々木 英氏 佐々木英司法書士事務所 司法書士 (嘉飯支部)

仕事の量は多種多様に増え、一つ一つの案件にかけられる時間は短くなるが、クオリティの向上も求められます。まさに時間との戦い。こんな時代だからこそ、今こそ時間の有限性をしっかりと認識し、その有益な管理方法を学ぶことで、無駄なく無理なく目標を達成していく時間管理術を身に着けましょう。

19 金 18:30~21:00

西支部
4月例会

最近の地域経済の動きについて(仮)

■ 天神ビル 11F 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
 ■ 甲木 一也氏 財務省 福岡財務支局 理財部 次長

日本の経済の現状から地域経済の動きを知り、今後の企業の経営に生かし、今後の経済の見通しを探り、企業の方向性を築く糧とする例会です。

22 月 18:30~21:00

かすや支部
4月例会

同友会とあなたの企業経営は不離一体

■ 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
 福岡県中小企業振興センタービル 11F ☎092-686-1234
 ■ 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 会長 (筑豊支部)

「一般的に中小企業は7~8割が赤字」と言われていますが、同友会の会員企業では黒字4割、収支トントン3割、赤字3割と非常に健闘しています。同友会での学びが企業の発展に寄与していることは明白です。この変化する世の中に対応していくべく、企業として、また経営者の在り方を本質的に考え、同友会の歩みと将来の自社の姿を重ね合わせて、さらに深く考える学びの場にいたします。

23 火 18:30~21:00

企業連携推進委員会
FAST4月例会

大緑会Part2~真連携による仕事づくり・仲間づくり

■ 福岡県中小企業振興センタービル3階 302号
 福岡市博多区吉塚本町9-15

5月

12 日 10:00~16:00

青年支部
4月例会

フレンドシップフェスティバル2013

■ 福岡市役所前広場 福岡市中央区天神1-8-1 ☎092-711-4111

青年支部の会員は、過去10回開催したフレンドシップフェスティバルを通じて、多くの作業所や市民の方々とふれあうことができ、数多くのことを学び、感動を得ることができました。今回のフレンドシップフェスティバルでは、過去17回開催した経験をもとに、作業所の仲間たちと市民の皆様により親しまれ、交流の場となるよう、さらに充実した催しを企画しておりますので、多数のご参加を青年支部一同心よりお願い申し上げます。

4月25日(木)

第51回 定期総会創立50周年記念式典

「福岡県中小企業家同友会」は、1963年に79名で創立以来、本年3月で、おかげさまで創立50周年を迎えました。会員中小企業家が智恵と情熱を結集しながら、激動し続ける経営環境に適應して幾多の困難を乗り越える「道なき道」を先駆的に切り開く運動を展開し、会員企業や地域と共に発展してきました。まさに「創造」の運動史と呼ぶべき福岡同友会の50周年を様々な形で振り返り、地域の活性化と共に良い環境づくりをめざし、新たな運動創造・時代創造の契機とすべく、第51回定期総会・創立50周年の式典を開催します。

■ 会場: **ホテル日航福岡 3階 “都久志の間”** (福岡市博多区博多駅前2-18-25 ☎092-482-1111)

■ 時間: 12:00~ 受付開始 創立50周年記念企画
 13:00~ 第51回定期総会 15:15~ 第1部 記念式典・記念講演
 18:00~ 第2部 祝賀会

祝賀会について

参加費 **7,000円** (内、会員は会より3,500円参加補助費あり)

※祝賀会に参加される方は、式典実行委員から事前にチケットを購入してください。
 尚、着席形式となっておりますので、必ずご出席いただきますようお願い致します。

最終締切/4月11日(木)

4月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

11 木 18:30~21:00

労務管理部(経営労働委員会)
就業規則作成セミナー

見直し・個別相談など

■ 天神パークビル 福岡市中央区大名2丁目8-18 ☎092-721-5530
■ 北原 勉氏 社会保険労務士法人 COMMITMENT 代表社員(博多支部)
人間尊重の経営について考え、人を生かす経営(労使見解)の学びと実践の場として、『就業規則作成セミナー』をテーマごとに分けて年間8回開催します。

11 木 18:30~21:00

大牟田支部
3月例会 ※3月例会日程変更分

■ だいふく 大牟田市有明町2-1-3
■ 吉原 勝己氏 吉原住宅有限会社 代表取締役(南支部)

16 火 18:27~21:00

北九州支部
4月例会

「中小企業の魂を語る」 ～『魂の中小企業』の著者が語る元気企業の真実～

■ リーガロイヤルホテル 北九州市小倉北区浅野2-14-2 ☎093-531-1121
■ 中島 隆氏 朝日新聞社 中小企業・NPO専門記者
□覚悟、決意をもった経営者はみな、魂の中小企業家。
□中小企業はアンパンマン。「愛と希望と勇気」を与えてくれる。
□マスコミにおける中小企業の位置づけとは。
経営者は、いかに環境が厳しくとも時代の変化に対応して経営を維持し発展させる責任があります。「魂の中小企業」を読むと、登場する経営者の姿勢に感動しました。きっと素晴らしい例会になります。

16 火 18:30~21:00

玄海支部
4月例会

集客革命! ~Facebookのビジネス活用法~

■ 都久志会館会議室 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
■ 山田 恭輔氏 武雄市役所 つながる部 フェイスブック係長
■ 置帖 正則氏 オフィスラバーリング 代表
スマートフォンの普及により、簡易ブログのツイッターや交流サイト(SNS)のフェイスブックなど、「ソーシャルメディア」と呼ばれるインターネットサービスが急速に普及しています。企業が販売促進やブランド力の向上などに活用するケースも増えています。ソーシャルメディアを代表するフェイスブックの特徴、ソーシャルメディアがもたらす変化、ソーシャルメディアを活用した企業の取り組みを知り、自社のビジネスにヒントを得ましょう。

16 火 18:30~21:00

博多支部
4月例会

同友会会歴20年の決算報告「今伝えたい事」 なぜ儲からないのか? それは、自社の真の姿をつかんで無いからです。

■ PLUG 中洲gates 3F 福岡市博多区中洲3丁目7-24 ☎092-283-0001
■ 矢野 千寿氏 株式会社アローフィールド 代表取締役(博多支部)
自社の問題点の発見への取り組みや、人生理念、人材育成、制度管理、計数管理など会社にとって重要な土壌改善についての報告をしていただきます。自社の真の姿を知ること、すなわち自社の課題を発見し改善策への取り組みに繋げる事の重要性を学びます。

17 水 18:30~21:00

南支部
新会員歓迎の集い

次期ブロック長予定者が語る、私と同友会との関わりかた。 ～同友会活動を自社の組織に上手に組み入れよう!～

■ ホテルコムズ福岡 福岡市博多区博多駅前2-8-15 ☎092-451-5111
■ 渡辺 年紹氏、大串 和義氏、横山 大輔氏、徳永 眞木子氏、中島 洋史氏(南支部)

17 水 18:00~20:30

福博支部
4月例会

金融機関との付き合い方 17年間の会社経営を通して

■ IPホテル福岡 福岡市博多区中洲5丁目2-18 ☎092-262-2009
■ 綾戸 一由氏 福岡リーダーズ倶楽部 代表者(南支部)
福岡銀行に30年以上勤務され、その後実弟の会社を手伝う為に入社するも再生不能状態である事が判明し1年後倒産を経験する。その後ご自身が(株)アーヴァンを設立する。元(株)アーヴァン代表取締役社長綾戸氏に倒産しない会社作りと金融機関との上手な付き合い方をレクチャー頂きます。

17 水 18:30~21:00

中央支部
4月例会

後継者、悪戦苦闘中 事業継承の課題と実践

■ 天神ビル 11F 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
■ 板橋 優氏 有限会社福岡工業 後継者(中央支部)
長年、事業を継続してきた中小企業にとって、現在大きな問題となっているのが事業継承です。後継者と既存の会社組織との間の信頼関係、後継者の経営者としての姿勢や資質、といった点にあらわれる問題と課題、解決について報告し学びます。

17 水 18:00~21:00

東支部
4月例会

感謝の気持ちで経営が変わる ～活動不参加だった会員が語る同友会での学び～

■ ウィズ・ザ・スタイル 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
■ 明石 勝善氏 株式会社さきねや 代表取締役社長(東支部)
去年、代表取締役に就任した報告者が入会当時、現場主義の為に幽霊会員だったのに同友会で学び社員さんや家族に感謝し自社の経営に取り入れ会社経営を変えた事の話になります。

18 木 18:00~21:00

新会員フォローアップ部会
第101回新会員フォローアップセミナー

■ 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F

18 木 18:20~21:00

筑紫支部
4月例会

地域と共に歩む企業をめざして

■ 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
■ 平山 悠司氏 有限会社時計・宝石・メガネ・ヒラヤマ 代表取締役(筑紫支部)
創業明治38年(1905年)。筑紫野市の二日市中央通り商店街にあって地元のお客様に支えられ、100年以上時計、宝石、メガネ、補聴器の「確かな専門店」として歩んできたお店の三代目である平山悠司社長の報告です。商店街の抱える今日的課題を絡めながら、企業が地域になくならない存在であり続けるためには何が大切かを学びます。

18 木 18:30~21:00

ひびき支部
4月例会

大討論会! ひびき支部ってどうゆう会? ～あなたは同友会に何を求めますか～

■ ニューハートピア 北九州市八幡西区岡田10-10 ☎093-645-0012
ひびき支部も新体制になり一年が過ぎました。例会は色々な取組みがなされ活気を取り戻しつつあります。増強は増よりも強にウエイトを置いた取組みにより、確実に退会者が減りました。市丸支部長体制の2年目を迎えるにあたり、どうすれば同友会活動が自社に有益で、自分自身が楽しんで活動できるようになるのか? その為に今何をすべきか? 会員の皆さんの要望やご意見を今後の活動に反映させていきたいと考えています。

2012年度 第10回理事会報告

■ 日時：2013年2月20日(水) 15:00～18:00

■ 会場：福岡県中小企業振興センター 501会議室

■ 出席：39名(欠席14名) 出席率74%

■ 議長：村山副代表理事

□ 開会あいさつ(中山代表理事)

皆様、全研は大変お疲れ様でした。シーホークの部屋をすべて借り切り、1か所での開催のため、スムーズな運営が出来ました。懇親会での雙葉学園合唱は、静まり返った中で心に染み入るような感動がありました。2日目の、株式会社かくや川原社長の報告内容も、同友会理念と同じ経営を実践していると感じました。事前の準備も大変でしたが、私たちの想いが伝わったと思います。実行委員・理事・役員の方々がおもてなしの心を持って対応して下さったことが、非常に良かったと思います。オプションツアーも参加者には喜んでいただけました。

また、全研の前日に青年部連絡会が立ち上がり、設立記念交流会を200名の参加で開催することが出来ました。参加してみて、青年のパワーはすごいと感じました。これからの福岡同友会を担っていく力だと思えます。先週3日間は、大変ありがとうございました。この盛り上がり、定期総会から次年度の活動につなげていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

1. 活動報告

① 対外的活動

- ・西日本新聞社よりの協力申し入れについて
西日本新聞社 梶島経済部長と齊田編成部長より西日本新聞「ひと」欄への掲載依頼と、電子版(qBiz)への法人契約のご案内がありました。
- ・後援関係(九州大学・日本経営協会2件)
- ・景況調査、電力料金値上げ問題の記者発表
- ・経済産業省の公聴会での電力料金値上げ問題に関する意見陳述
- ・女性が大活躍する福岡推進会議(仮称)への対応
- ・福岡国際大学、九州情報大学より講師派遣要請
- ・九州大学ビジネススクール「第2回次世代経営者育成プログラム」参加呼びかけ依頼
- ・立正大学産業経営研究所よりインタビュー調査依頼
- ・映画「ひまわり〜沖縄は忘れないあの日の空を〜」上映への賛同・協力依頼

② 会員企業の動き

- ・経営革新計画承認企業紹介(2社)
- ・会員の報道記事等紹介

③ 前回理事会以降の全国・全県的な活動

- ・中同協幹事会、福岡県信用保証協会との懇談会、北九州地区新年祝賀会、筑豊地区新年祝賀会、中央支部周年行事、大牟田支部周年行事、現・新理事研修会、マスコミ懇談会、青年部連絡会設立記念交流会、第43回中小企業問題全国研究集会
- ・前回理事会以降の会員参加の活動では、延1657名の会員参加(83%)、ゲスト(入会対象者)266名、その他の参加を含め総参加数2974名

2. 第51回定期総会議案

① 2012年度活動のまとめ(案)

- ・実績の数の部分は2月末で集計した数字を3月理事会で確認。

② 2013年度活動方針(骨子案)

- ・前文で、「中小企業憲章では「中小企業は経済を牽引する力であり、社会の主役である」と日本経済に占める位置の重要性を示しています。どのような厳しい経営環境の中にあっても、私たちは中小企業経営者としての自覚と責任をもち、社会の主役としてこの混沌とした時代を切り拓いていかなければなりません。中小企業憲章の精神を生かし、地域とのかかわりを深め、中小企業振興基本条例制定などにもつなげ、活動を共にする仲間を増やしていきましょう。企業づくりと地域づくりで仲間を増やすことは、立派な社会貢献です。今年度は、福岡同友会の新しい50年の始まりです。会員一人ひとりの自主的・主体的な活動で同友会の学びを自ら実践し繰り返し、どのように

環境が変わろうともそれに対応できる強じんな企業づくりを実践し地域にも広げていきたいと思います。』に変更を確認。

→この案を、地区、支部でしっかり討議し深めることとしました。

③ 福岡同友会の組織について

- ・福岡同友会の組織の機能と役割の整理(案)について
理事会、支部役員会、地区幹事会、正副代表理事会の会議の流れ及びそれぞれの役割について確認を行いました。地区幹事会及び支部役員会でしっかりと議論をお願いします。それぞれの組織に権限を持たせているので、活動に対しての「報告・検証」も行うよう、項目を設けています。

- ・2013年度組織図(案)について
人を生かす経営推進本部…今まで三位一体と表現していましたが、バリアフリー委員会も追加され、4つの委員会となりました。地域政策部は、各地区会が責任を持って推進していくようお願いいたします。
- ・2012年度本部・室・委員会活動の機能と正副代表理事担当(案)、活動計画一覧(スケジュール)を確認しました。

- ・人を生かす経営推進本部に関する委員会には、可能であれば全ての支部から委員が出るようにしてほしいと要請がありました。
- ・女性部委員会より「女性役員さんを増やすことが必要。そのためにも県の女性部委員として、1人支部役員として入れてほしい」と要請がありました。

- ・青年部連絡会の代表を理事とする件について代表 都地さんを理事とすることを承認しました。

- ・2013年度本部・室・委員会活動の機能と正副代表理事担当(案)、活動計画一覧(スケジュール)を確認しました。
- ・人を生かす経営推進本部に関する委員会には、可能であれば全ての支部から委員が出るようにしてほしいと要請がありました。
- ・女性部委員会より「女性役員さんを増やすことが必要。そのためにも県の女性部委員として、1人支部役員として入れてほしい」と要請がありました。

④ 2012年度決算見直し及び2013年度予算(案)

- ・2012年度決算見直し及び2013年度予算及び地区活動費の配分を確認。

- 現・新支部長研修について
3月13日の理事会後18時30分から、現・新支部長の研修会を開催いたします。予算の立て方なども含めて、分からないことがあれば、研修をしますので、それまでに質問・疑問などがあれば、まとめて事務局へ意見提出をお願いします。

- 仲間づくり研修会について
3月29日18時30分より 仲間づくりの考え方、目標などを全県で共有したいと思います。ぜひ皆さんご参加ください。

- 上記二つの研修会については、早急にe.doyuにて案内することを確認。

- ⑤ 2013年度役員候補について
候補者の確認をしました。その上で、理事はきっちり理事会に出席するよう要請してほしいと意見がありました。

3. 支部繰越金の使途について

- ・森プロジェクト長より提起があり、残金としては約1800万円ほどであることを確認。
- ・全体の議論として、大きな長い目で予算を見ていく。同友会としてやらなければならないことは、本会計できちんと計上して対応していく。しかし本当に緊急性の高いものについては、今回のように別枠で取り組んで良い。
- ・意見の中には、継続的に費用が必要なものがあります。繰越金が無くなった後も支出が必要なものについては、対象から外すべきではないか。などの意見もふまえ、各理事がしっかり考え、資料を検討し意見を持って参加し、次回の理事会で

しっかりと議論し結論をだすことを確認。

4. 第51回定期総会の設営

- ・日時、会場の確認
- ・会員への案内、来賓の案内
- ・議案書送付、意見集約のスケジュールの確認
- ・表彰関係
各支部・地区での参加促進依頼がありました。総会の委任状について、組織運営規則では欠席も委任としていますが、できるだけ出席者と委任状のみで過半数に達するよう、役員の方々は声掛けをお願いします。

5. 規程、細則関係

- ① 組織運営規程の参加費等の統一基準
再度検討して来月提案し、確認します。
- ② 会計処理細則
- ③ 入札規程
⇒上記2件の変更が承認。

6. 会員増強の推進

- ・1月末の会員数を確認し、年度末までの取り組みを協議しました。
- ・来期目標は2500名とします。退会率を減らし、女性の会員を20%にすると、この目標は達成できると思います。そのために今期残りの期間をしっかりと取り組み2300名をめざしましょう。
- ・4月定期総会までに2300名を何としても確保したいと思えます。役員全員で700名おられます。できればその一人ひとりが、1名のゲストを紹介し、ある程度の割合で入会いただければ、達成も難しくないと。どうか、役員の方々はみんなで目標を達成しようということ、役員会で訴えて、全員で取り組みをお願いします。
- ・先日の金融機関との懇談で、資金を貸せるかどうかは最後は経営者の熱意です、と言われました。一刻も早く同友会に入会して、しっかり経営計画を立てるよう、お誘いしましょう。まさに人命救助です。

7. 創立50周年事業推進

- ① 50周年記念式典
- ② 50周年記念誌
100年企業を月刊同友で紹介しています。来月は、50年企業のアンケートを掲載します。

8. 本部、室、委員会関係 他

- ① 本部・室・委員会関係
 - ・金融円滑化法の終了に伴う対策について
 - ・どうなる!「個人保証」
 - ・役員研修大学参加の要請 3月9日(土)
 - ・同友すばる特別委員会より第4講を開催します 2月
 - ・ソーシャルビジネス特別委員会 3月9日(土)
 - ・女性部交流会 大阪 6月13～14日、女性部委員会の勉強会 3月25日
 - ・広報より 西日本新聞経済欄「ひと」について各支部より推薦をしてください。その方のセールスポイントも含めて。次回理事会までをお願いします。
 - ・東日本大震災復興シンポジウム 3月6日
- ② 地区・支部活動関係

□ 閉会あいさつ(中村代表理事)

全研については、司会やオプションツアーなど、それぞれ持ち場持ち場で課せられた役割を果たしていただきました。事務局も含め、丸となった動きが成功につながったと思います。県外の会員さんからは、福岡はすごいという声をたくさんいただきました。この役員の方をそのままに、4月定期総会の際には2300名に持っていきたいと思っておりますので、皆さんよろしくお祈りします。本日はお疲れ様でした。

2012年度 第11回理事会報告

■ 日時：2013年3月13日(水) 15:00～18:00

■ 会場：福岡県中小企業振興センター 501会議室

■ 出席：40名(欠席12名) 出席率76.9%

■ 議長：樋口副代表理事

□ 開会あいさつ(田浦代表理事)

年度末となりお忙しいと思いますが、今年一年をしっかりと総括して新しい一年を迎えたいと思います。

最近の景気動向ですが、内閣府が発表した消費動向調査によると、5年8ヶ月ぶりの高水準になっているとのことでした。これは消費者の意識調査になりますが、全4項目すべてがよくなったそうです。今年の春闘ですが、労働側の意見を企業が満額回答しています。やはり景気に意識が大事だと感じました。

共同求人委員会の大学訪問に久しぶりに同行しました。大学訪問では、北九州、福岡、県南の大学を訪問していますが、私は福岡の大学訪問にいきましました。やはり継続してきたことが認知されてきており、いままでの委員会が築きあげてきたものが着実に浸透していると感じました。

1.活動報告

①前回理事会以降の全国・全国的な活動対外的活動

- ・前回理事会以降の会員参加の活動では、延354名の会員参加(18%)、ゲスト(入会対象者)37名、社員他49名、総参加数440名
- ・個人保証シンポジウム、東日本大震災復興シンポジウムへの参加報告

②本部・室・委員会関係

- ・日本政策金融公庫(福岡支店)との懇談会、第19期役員研修大学、NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会3月例会及び4月ランチ活動、同友すばる事業承継塾第4講の報告
- ・会員の報道記事等紹介

2.第51回定期総会開催に向けて

①議案

- 中小企業をとりまく情勢(地区)について、内容を確認。
- 2013年度予算案(修正)について、委員会からの予算申請があり、実績より140万円多くなった。これを予算案に入れて、活動予備費と予備費をなくした。最終予算案では、前期繰越金を収入に入れ、同額を予備費とする案とした。⇒承認。
- 2013年度役員候補について、フォーラム委員長とビジョン委員長は今月中までに決めた。
- 規約改正案について、第10条において、会費は払戻しないとするが、入会金についても今までも返しておらず当然今後も払戻しないので、入会金という文言を追加する。⇒承認。
※尚、規約規程などの提案についての手順を確認した。

②総会および50周年記念式典

- ・総会、式典はいつも行っておりある程度型が決まっているが、祝賀会は10年に一度なので決まり事はない。現在は内容を検討中。
- ・総会表彰について、永年会員表彰者については、支部・地区で参加の声をかけしてほしい。
- ・参加促進について、各支部で目標に向かって取り組んでほしい。

3.支部繰越金の使途について

- ・前回の理事会の確認にもとづき、討議を行った。
- ⇒さまざまな意見を踏まえ、集約した意見を本来の趣旨に沿ったものであるかどうかを正副で仕分け整理して次回理事会に提案することとなった。継続審議。

4.除籍審議

- ・5名の除籍を確認。

5.規程、細則関係

①組織運営規程の参加費等の統一基準

- ・宿泊代について、原則5,000円を限度に計画をすることを確認。
- ・経営指針作成セミナーについては、泊まってつきっきりでしているので例外とし、参加費からだすことを確認。

②除籍に関する件

- ・討議の結果年会費の考え方と、退会時の会費負担について文書で分かり易くしておくことを確認。

6.会員増強の推進

- ・福岡地区の期首は1448名だったが現在は1481名で33名増えている。北九州地区は期首が210名で現在は198名なので、マイナス12名。筑豊地区は期首が119名で現在は116名なのでマイナス3名。県南地区は期首が226名で現在は207名なのでマイナス19名。
- ・西支部は83名目標で現在84名。玄海支部は102名で目標達成。かすや支部は期首が40名で目標は50名の125%アップで、10名増を目指しているが、3月はすでに入会申請があり50名を達成している。
- ・全体から見ると今年は2300名目標なのでまだまだ足りない。3月末まで2300名を目指して、あと2週間ほどしかないが、やれるところまで行きたい。退会申請者には、もう一度あずなる塾に誘ってほしい。ベテラン会員が参加しづらくなっている時には支部移籍を検討してもらってほしい。
- ・理事会V90は、笠置チーム、田浦チームに続いて、樋口チームが達成。藤吉さんがんばってもらった。また後2名のチームも多い。ぜひ90名をやりとげたい。笠置チームも20名を目指している。全体であと8名だから、理事みんながんばりましょう。
- ・来年度から会員増強戦略本部が仲間づくり推進本部と変わり、3月29日に仲間づくり研修会を開催予定。少なくとも参加対象の半分の役員に参加してほしい。参加対象者は225名なので、110名以上に参加してもらいたい。各リーダーには参加要請をお願いしたい。また昨年のアンケートをみたら戦略本部が具体的な仕組みややり方を指し示してほしいという意見も多い。研修会では精神論とかやる気とか言わず具体的な方法論を話すので、ぜひ支部や委員会の中で取り入れてほしい。仲間づくり対象者に対して、活動について日ごろ感じていること、不明点、などの意見をだしてほしいので、明日事務局よりアンケートを流し

たい。ご協力をよろしくお願ひしたい。

- ・3月16日(土)に第100回フォローアップセミナーを開催。対象者リストは支部長もしくはFU委員にいつているので、ぜひ声をかけてほしい。
- ・会の発展、活性化をはかるものさしは、会勢しかないと思っているので今後も仲間づくりに取り組んでいきたい。

7.活動報告

①対外的活動

- ・宮崎の全国総会で、福岡設営で遠賀信用金庫の中村会長が報告。また遠賀信用金庫理事長も金融円滑化法終了後も金融機関の責務を果たすと言われている。
- ・福岡財務支局への説明会要請
- ・大学との連携(九州情報大学<平成25年度キャリア教育計画>、福岡国際大学<就職ガイダンス・教官向け講演>)
- ・労働組合からの申し入れ(県労連、連合)
- ・中央会「労働者派遣事業適正運営協力員推薦依頼(引き続き福田顧問に依頼・了承)
- ・沖縄同友会から中同協に話があり、映画「ひまわり」に賛同するかどうかについては、正副預かりとした。
- ・九州志士の会より「今だから求められる地域再生への支援機関のあるべき姿」開催における後援名義使用依頼の承諾
- ・事業型NPO展開支援事業の審査委員にNPO特別・ソーシャルビジネス特別委員会の吉原委員長を推薦。確認。
- ・西日本新聞社との連携企画について、支部から推薦してほしい。

②会員企業の動き

- ・西日本新聞(副島勲氏)、(全研オプション旅行)、朝日新聞(事業承継について)の紹介

8.その他要請事項など

- ・博多支部の例会案内、ひびき支部の例会案内。

□ 閉会あいさつ(中山代表理事)

創立50周年にあたり記念事業を行っています。2月に入り会勢が上向いていると感じたが、今は東京同友会と抜きつ抜かれつであるものの、手ごたえは感じています。

政府から補正予算が多く出ていますが、中小企業支援に関しては、あきらめている企業は助けようがないですが、そうでないところ、経営トップがなんとかしてもやりたいというところは応援するといっていました。このやる気のある中小企業が同友会に入って福岡、地域を巻き込んでやっていこうとなれば、中小企業も経済も良くなります。今後も2300名に向けて取り組んでいきましょう。景況調査にもぜひ協力をしてください。

〈 討 報 〉

中央支部所属の佐東 和芳様(サンキュウ(株) 代表取締役)が、3月20日にご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り致します。



私達は、『貼る』仕事をしています!

HARIUP

カーマーケティング事業部
オーダーメイドステッカー事業部
カーフィルム・建築フィルム事業部

代表取締役 濱田浩光

PROFESSIONAL WORKSHOP TEL:092-411-3755
貼りアップ株式会社 FAX:092-411-3715
〒812-0043 福岡市博多区堅粕4-26-17 staff@hariup.jp

社会保険労務士法人 COMMITMENT

副代表 北原 正

〒812-0014 福岡市博多区比恵町1番18号 東カン第2ビル207号
TEL(092)472-4631(代) FAX(092)472-5954
http://www.s-commit.jp Eメール:s-kitahara@s-commit.jp
〈東京事務所〉 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目10番3号

株式会社 アーキテックス

代表取締役 栗山 浩

〒816-0852
福岡県春日市一の谷1丁目126番地
TEL:092-589-3377 FAX:092-589-3378
http://www.architex.co.jp
E-mail:info@architex.co.jp

串かつ屋 ふみ勝

代表 三橋 更太

〒810-0022
福岡県福岡市中央区
薬院3丁目12-22-301
TEL:092-526-4888
FAX:092-524-5707

URL:fumikatsu.com E-mail:mihako@td@ydhoo.co.jp

株式会社 システム企画

中小企業向けコンピュータシステム
導入・運用お気軽にご相談ください。

**製造業、流通業、サービス業など
多くの構築実績あり**

〒815-0032 福岡市南区塩原4-13-21 宮本ビル
代表取締役 倉本 明彦 TEL:092-552-0858
http://www.sys-k.co.jp mail: info@sys-k.co.jp

株式会社 筑紫工業

代表取締役 新内 一秋

〒811-1204
福岡県筑紫郡那珂川町片縄東1丁目26-19
TEL:092-952-5468
FAX:092-952-7845
URL:http://www.chikushi-410.com
e-mail:k-shinnai@chikushi-410.com

株式会社 コスモス

あなたを守りたい。
ユニバーサルホーム

取締役 渡辺 年紹

〒819-0041 福岡市西区拾六町1-10-5
TEL:092-891-5500 FAX:092-891-5560
URL:http://www.universal-home.co.jp
e-mail:watanabe-cosmos@universal-home.co.jp

GOOD DESIGN AWARD 2012
グッドデザイン賞受賞
「地蔵・津波に強い基礎」「地熱床システム」

駐車場のトータルカンパニー
セイワパーク株式会社

代表取締役社長 清家 政彦

〒812-0007
福岡市博多区東比恵2-1-3
TEL 092-474-8000 FAX 092-473-2222
E-mail seiwapa@seiwapark.co.jp
http://www.seiwapark.co.jp/

福岡・博多・天神のビジュアルビルやレトロ、
リノベーション、デザイナーズ、SOHO、シェアハウスのお部屋をご紹介します。

www.space-r.net

space R design
吉原住宅有限会社

〒810-0041
福岡市中央区大名2-8-18 天神パークビル
tel.092-720-2122 yj@tenjinpark.com

Photo/ Matsumoto Kazuo(MAJI,ST)

スナック 遊娘 SUN

明るく楽しいアットホームなお店です。
“西中洲”の楽しいひとときを
“遊娘SUN”で
ぜひお過ごし下さいませ♡

福岡市中央区西中洲2-14 第二フジクラビル2F
TEL 092-739-2239
営業時間:19:00~25:00 定休日:日・祭日